

岐阜大学の活力(いぶき)を地域から世界へ発信する広報誌

published by



岐阜大学

岐大の いぶき

2013
Spring-Summer No.25

【特集1】

**主体的な自然体験
『森のようちえん』で
新しい保育の在り方を研究**

【特集2】

**「大学×地域の重層的なチャレンジ支援」
地域との連携の中で、
学生の挑戦を後押し!**



03-05 Topics 岐阜大学のとりくみ Oct.2012→Apr.2013

06-09 【特集1】
**主体的な自然体験『森のようちえん』で
新しい保育の在り方を研究**

教育学部 家政教育講座 保育学研究室
今村 光章 准教授

10-13 【特集2】
**「大学×地域の重層的なチャレンジ支援」
地域との連携の中で、学生の挑戦を後押し!**

工学部 社会基盤工学科
社会資本アセットマネジメント技術研究センター長
高木 朗義 教授

14-15 **岐大で生まれるもの。最先端研究の現場。**
ピンポイントの気象予報研究が次世代エネルギーの未来を拓く

大学院工学研究科 環境エネルギーシステム専攻
自然エネルギー研究室
小林 智尚 教授

16-17 **ひらけ! 授業の扉**
稲を育て、米を食し、「日本の稲作文化」を体験から学ぶ授業。

応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター
大場 伸也 教授

応用生物科学部 作物栽培学研究室
松井 勤 教授

応用生物科学部 応用生命科学課程 食品加工学研究室
後藤 清和 教授

応用生物科学部 生物環境科学課程 多様性保全学研究室
宮川 修一 教授

18-19 **就職の最前線へ**
岐阜大学キャリアセンター「先輩社会人アドバイス事業」
20代後半の先輩社会人が「働くとは?」を学生に伝授!

20-21 **いまを駆ける! 岐大生FACE**
Interview PHANTOMS前主将
岩佐 純平 さん

22 お知らせ

23 岐阜大学基金の状況報告

巻末 公開講座のご案内

「森のようちえん」では、「大人はできるだけ口を出さず、子供が自分で気づくまで見守る」というルールがあるようです(本誌より)。森の中で、子供たちが五感をフルに発揮して遊んでいる姿を想像してみましょう。私たち大人が忘れてしまった、または経験したことのない森と人との交流が期待できそうです。そんな中で五感を研ぎ澄ませれば、きっと予想外で、素敵な第六感が育まれることでしょう。イギリスの哲学者ウィリアム・アーサー・ワードの言葉に、「普通の先生は説明をする。ちょっとできる先生は手本を見せる。優れた先生は生徒の心に火をつける。」とあります。子供たちだけでなく、大学生の心に火をつける教育が大切です。

(編集長)



PLACE ながら川ふれあいの森
MODEL 岐阜大学教育学部
家政教育講座 保育学研究室
今村 光章 准教授